

緑風会 藪田 啓介 議員



- ① 鈴鹿市における学校教育について
- ② 4月15日の地震について

質問① いじめ、不登校の低年齢化と普通学級における特別支援教育、開かれた学校となるための取り組みと現状はどうか。

答弁① いじめ、不登校については、学校・家庭・地域のネットワークによる取り組みを推進し、各学校での実態把握に基づき、未然防止、早期発見・対応に努める。特別支援教育については牧田小学校に特別支援通級指導教室を開設し、各学校に特別支援コーディネーターを配置し、一人一人に応じた指導に努める。また、

開かれた学校づくりとして「学習ボランティアやパトロール活動」など保護者、地域の方々と協働した取り組みを進める。

質問② 被害状況の把握と初期対応及び問題点及び高齢者世帯などの安否確認はどうであったか。

答弁② 地域防災計画に基づき初期対応をしたが、いくつかの問題点があった。今回の問題点を精査検証して今後の災害対応に生かしていく。要援護者については地域との情報共有が無く、安否確認は行っていない。支援体制については今後の課題として検討していく。



無所属クラブ 板倉 操 議員



施政方針に関連して

- ① 現状の認識はこれでよいのか。
 - (1) 国と地方との関係
 - (2) 市内の経済状況について
- ② 教育費、民生費が他市に比べ低い。
 - (1) 認可外保育園の支援の充実について

質問①(1) 国の政策による増税、社会保障の切り捨てで市民の暮らしは大変である。鈴鹿市も交付税、補助金カットを受けている。その点を認識し市政運営をすることが重要であると思うがどうか。また「主力産業である『ものづくり産業』の業績は堅調に推移している」とあるが9年間で114の製造業の小さな会社が廃業、倒産している。一

面的な見方では適切な施策はできないと思うがどうか。

答弁①(1) 国の財政再建が地方を犠牲にするものであってはならないと考え、引き続き国に言うべき事は言うていく事が必要と考えている。中小企業の現状は認識している。適切な施策を今後も考えていく。

質問①(2) 教育費、民生費が他市に比べ低い。

答弁①(2) 指摘のとおり他市に比べ低いのは事実だが、いろいろな見方があると思うので、劣っているとは言い難い。しかし、教育や福祉には力を入れて充実に向けてやっていく事が重要と考えている。

質問②(1) 認可外保育園の支援について昨年12月議会で検討するとの事であったが、検討されたのか。

答弁②(1) 市費補助の部分の予算の中で増額する。

あくていぶ21 矢野 仁志 議員



- ① 防球ネットの基準について
- ② 5歳児健診の必要性について
- ③ 子育て支援病児病後児保育について

質問① 運動場からボールが道路に飛び出すような危険な学校がある。防球ネットの基準はあるのか。また開放委員会への指導は徹底しているのか。

答弁① 明確な基準はないが、小中学校では、学校の実情に見合った防球ネットを設置している。危険な箇所があれば調査し適宜対策を講じたい。また、学校体育施設開放運営委員会で、諸事項について注意喚起を図っており、安全対策等には十分注意をするよう徹底をしたい。

質問② 発達障害の早期発見が大切であるが、5歳

児健診を実施する考えは。

答弁② 健診から就学まで定期的な相談、検査により、軽度発達障害・心の問題等の早期発見、早期療育を補い、適切な就学支援に努めている。今後も保育所における発達支援に視点をおいた集団でのかわりの場との連携を深め、支援の充実を努めたい。

質問③ 情緒障害児短期治療施設が必要と思うが、なぜ取り組みが遅れているのか。20万都市で病児病後児保育が1ヶ所だけは少ないのでは。

答弁③ 児童虐待の相談件数が沢山あり、情緒障害児短期治療施設の必要性は認識している。県も必要性を認識しており施設を整備するとの計画があるので、施設整備に向けて働き掛けをしていきたい。